



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 サンデンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6444 URL <https://www.sanden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西 勝也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 秋間 透 (TEL) 03-5209-3341
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	166,541	△17.3	△1,888	—	△5,046	—	12,210	—
2019年3月期第3四半期	201,310	△4.1	△848	—	△1,306	—	△1,887	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 10,201百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △5,494百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	440.60	—
2019年3月期第3四半期	△68.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	209,642	32,566	14.3	1,082.63
2019年3月期	246,401	23,538	7.7	685.04

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 30,036百万円 2019年3月期 18,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	△21.5	500	△43.8	△4,000	—	9,000	—	324.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名) SANDEN INTERNATIONAL (EUROPE) LTD.
上海三電冷机有限公司

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	28,066,313株	2019年3月期	28,066,313株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	322,507株	2019年3月期	389,207株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	27,712,756株	2019年3月期3Q	27,660,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年度を最終年度とする中期経営計画（名称：SCOPE2023）を達成するために「生産体制の抜本的見直し」、「基盤収益力の向上」、「積極的な『協創』による成長」、「資産改革によるキャッシュフロー創出」、「実行のための仕組み改革」の5つの改革プランに日々取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の世界経済及び日本経済は、米中貿易摩擦は部分合意により短期的には沈静化の傾向が見られ、インド地域における景気回復傾向等底打ち感が出始めているものの、中国自動車産業の停滞傾向の継続及び英国の欧州連合（EU）離脱等先行きの不透明性はいまだ残っております。

また当社は2019年8月7日の公表の通り、当社の連結子会社であるサンデン・リテールシステム株式会社（以下「SDRS」といいます。）の発行済株式の全て及び当社がSDRSに対して保有する貸付債権を、インテグラル株式会社が運営するSDRSホールディングス株式会社に2019年10月1日付で譲渡を行いました。これにより経営資源を自動車機器事業に集中させてまいります。

尚、2019年11月6日付「業績予想の修正及び特別損益の計上（見込み）に関するお知らせ」にて公表した構造改革費用の計上につきましては、早期割増退職金に加え、生産体制の抜本的な見直しに伴い固定資産の減損損失等を計上し、業績回復に向けた変動費改善及び固定費削減施策等を着実に進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、SDRS株式譲渡の影響および、世界的な自動車市場の減速等の影響を受け、166,541百万円（前年同期比17.3%減）、営業損失は、1,888百万円（前年同期は営業損失848百万円）、経常損失は5,046百万円（前年同期は経常損失1,306百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益はSDRS株式譲渡の売却益及び構造改革費用等の計上により、12,210百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,887百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

A. 自動車機器事業

自動車機器事業においては、顧客の環境指向を的確に捉えた最先端の商品開発を進め、小型・軽量化、省動力化を軸に価値ある製品を提供してまいります。またSCOPE2023の5つの改革プランに基づきグローバルでの人員最適化を実施し、協創戦略の1つである共同開発にも取り組んでおります。

しかしながら、電動自動車向け商品による増収はあるものの、世界的な自動車市場の減速影響を受けた主要顧客の需要減により、売上高は前年同期に比べ減収となりました。

利益については、原価低減や構造改革を進めましたが、販売減により、前年同期に比べ減益となりました。

その結果、売上高は115,988百万円（前年同期比19.7%減）、営業損失は4,001百万円（前年同期は営業利益445百万円）となりました。

B. 流通システム事業

2019年10月1日付のSDRS株式譲渡の影響により、売上高は前年同期に比べて減収となりました。利益については第2四半期連結累計期間までの増益により、前年同期に比べて増益となりました。

その結果、売上高は43,237百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益は2,331百万円（前年同期は営業損失849百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて36,759百万円減少し、209,642百万円となりました。この主な要因は、当連結会計期間において、SDRS株式譲渡の影響による43,589百万円の資産減少の一方、SDRS株式譲渡代金の入金による現金及び預金の増加であります。

負債については、SDRS株式譲渡の影響により、31,043百万円の負債減少及び長短借入金の返済により、前連結会計年度末に比べて45,786百万円減少し、177,075百万円となりました。

純資産については、非支配株主持分の減少や構造改革費用の発生はありましたが、関係会社株式売却益24,355百万円を主因とする親会社株主に帰属する四半期純利益等の増加12,210百万円により、前連結会計年度末に比べて9,027百万円増加し、32,566百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,030	34,956
受取手形及び売掛金	73,591	45,730
商品及び製品	24,142	17,567
仕掛品	11,685	9,840
原材料	9,249	6,996
その他のたな卸資産	3,194	3,084
未収入金	5,975	5,475
未収消費税等	4,575	4,542
その他	9,531	7,297
貸倒引当金	△16,562	△16,758
流動資産合計	138,412	118,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,767	17,479
機械装置及び運搬具（純額）	20,873	17,950
工具、器具及び備品（純額）	5,217	3,866
土地	16,776	15,873
リース資産（純額）	7,615	7,214
建設仮勘定	6,187	5,011
有形固定資産合計	77,436	67,396
無形固定資産		
のれん	27	17
リース資産	351	155
その他	3,699	3,434
無形固定資産合計	4,078	3,606
投資その他の資産		
投資有価証券	21,873	16,463
退職給付に係る資産	110	110
繰延税金資産	2,240	1,651
その他	5,856	4,494
貸倒引当金	△3,606	△2,813
投資その他の資産合計	26,473	19,906
固定資産合計	107,988	90,908
資産合計	246,401	209,642

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,000	30,120
短期借入金	51,513	43,741
1年内償還予定の社債	1,505	1,785
1年内返済予定の長期借入金	23,704	23,324
未払金	7,553	6,288
リース債務	2,175	2,843
未払法人税等	478	220
賞与引当金	3,347	1,262
売上割戻引当金	426	136
製品保証引当金	2,782	1,766
損害賠償損失引当金	432	—
その他	12,789	10,240
流動負債合計	156,710	121,729
固定負債		
社債	5,832	4,940
長期借入金	47,939	36,201
リース債務	5,974	8,031
繰延税金負債	245	447
退職給付に係る負債	3,653	3,450
環境費用引当金	243	209
株式報酬引当金	255	133
その他	2,005	1,933
固定負債合計	66,151	55,346
負債合計	222,862	177,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	3,579	3,377
利益剰余金	10,484	22,694
自己株式	△877	△704
株主資本合計	24,225	36,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	△8
繰延ヘッジ損益	△84	△68
為替換算調整勘定	△4,297	△4,785
退職給付に係る調整累計額	△1,140	△1,505
その他の包括利益累計額合計	△5,265	△6,368
非支配株主持分	4,579	2,529
純資産合計	23,538	32,566
負債純資産合計	246,401	209,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	201,310	166,541
売上原価	167,479	139,078
売上総利益	33,830	27,463
販売費及び一般管理費	34,679	29,352
営業損失(△)	△848	△1,888
営業外収益		
受取利息	43	416
受取配当金	23	14
為替差益	510	—
持分法による投資利益	1,131	1,018
その他	645	465
営業外収益合計	2,354	1,916
営業外費用		
支払利息	1,923	1,837
為替差損	—	1,568
その他	888	1,668
営業外費用合計	2,812	5,074
経常損失(△)	△1,306	△5,046
特別利益		
固定資産売却益	185	1,128
投資有価証券売却益	63	9
関係会社株式売却益	—	24,355
その他	14	13
特別利益合計	263	25,507
特別損失		
固定資産処分損	118	277
構造改革費用	—	7,016
損害賠償損失引当金繰入額	28	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	109	—
その他	265	65
特別損失合計	522	7,359
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,564	13,102
法人税等	772	1,560
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,337	11,541
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△450	△669
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,887	12,210

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,337	11,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△268
繰延ヘッジ損益	△80	16
為替換算調整勘定	△494	652
退職給付に係る調整額	227	△364
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,841	△1,375
その他の包括利益合計	△3,157	△1,339
四半期包括利益	△5,494	10,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,788	11,107
非支配株主に係る四半期包括利益	△706	△905

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。</p> <p>なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった SANDEN INTERNATIONAL (EUROPE) LTD. は、連結子会社である SANDEN INTERNATIONAL (EUROPE) GMBH を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社であった上海三電冷機有限公司は、親会社であるサンデン・リテールシステム株式会社の当社保有の全株式を譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,556百万円増加し、流動負債の「リース債務」が423百万円及び固定負債の「リース債務」が1,211百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車 機器事業	流通システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	144,422	49,171	193,593	7,716	201,310	—	201,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	144,422	49,171	193,593	7,716	201,310	—	201,310
セグメント利益 又は損失(△)	445	△849	△404	△444	△848	—	△848

- (注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車 機器事業	流通システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	115,988	43,237	159,225	7,315	166,541	—	166,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	115,988	43,237	159,225	7,315	166,541	—	166,541
セグメント利益 又は損失(△)	△4,001	2,331	△1,669	△218	△1,888	—	△1,888

- (注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。